
—〈お知らせ〉—

うつ病・認知症シンポジウム両疾患の解明・治療に向けて

日 時 2011 年 12 月 8 日(木)14:00~17:00 (開場 13:30) 入場無料

場 所 イイノホール (東京都千代田区内幸町 2-4-1)

概 要

うつ病・認知症は、社会的負担の大きい疾患の代表であり、その罹患数の多さと性質から、われわれの生活に重大な影響を及ぼしている。健康長寿国であるはずのわが国は、高齢社会の進展に伴う認知症患者の増加と介護の問題を抱え、また、働き盛りの人々とそれを取り巻く社会に多大な影響を及ぼすうつ病患者の増加は大きな問題である。医療と神経科学の先進国として、両疾患の原因解明・根本的治療に向けた研究に国を挙げて取り組むことが極めて重要となってきた。

シンポジウムでは、これまでの研究でわかったこと、わかっていないことを解説するとともに、うつ病や認知症の社員を抱えた企業の立場からの意見も交えた討論を通じ、両疾患の解明・治療に向けた研究の進め方についてともに考える。

出演者

藻谷 浩介 (日本政策投資銀行参事役)

渥美 由喜 (内閣府男女共同参画会議専門委員／東レ経営研究所研究部長)

岩坪 威 (東京大学大学院医学系研究科教授)

神庭重信 (九州大学大学院医学研究院教授)

加藤忠史 (理化学研究所脳科学総合研究センターチームリーダー)

薮本雅子 (フリーアナウンサー) 司会

申し込み先 <http://dd.umin.jp/>

参加には事前の申し込みが必要となります。11 月下旬から上記ホームページで受付予定です。希望者多数の場合は抽選になる場合があります。

問い合わせ先 うつ病・認知症コンソーシアム事務局 dd-office@umin.ac.jp

主 催 うつ病・認知症コンソーシアム

後 援 日本うつ病学会, 日本認知症学会, 21 世紀医療フォーラム, 文部科学省 (予定), 厚生労働省 (予定)
